



2020年3月期 第2四半期決算
(2019年4月1日～2019年9月30日)

補足説明資料

2019年10月30日 (水)

デジタルアーツ株式会社
(証券コード 2326)

2020年3月期 第2四半期決算補足説明資料

決算のポイント

① 公共向け市場において「i-FILTER」「m-FILTER」が前年同期比で減収

- 前期に複数の大規模案件の獲得があった反動により減収

② 上期の連結営業利益は過去最高益を達成

- 公共向け市場の売上高は前年同期比で減少するも、企業向け市場および家庭向け市場は拡大
- 前期に実施した海外戦略の見直しに伴う経営資源の選択と集中効果により、収益性が向上し、連結営業利益は過去最高益を確保

③ 「DigitalArts@Cloud」のラインアップ拡充

- 「DigitalArts@Cloud」のラインアップに「FinalCode@Cloud」「Chat@Cloud」を加え、セキュリティを意識させない『無菌室』化された世界を、クラウド運用でも実現
- 企業におけるセキュリティのクラウド運用のニーズが高まり売上拡大

④ 「i-FILTER」ブラウザー&クラウドの売上が拡大

- 企業向け市場においては、働き方が多様化し、タブレットやノートパソコン等の会社支給端末を社外で利用する機会が増加
- 公共向け市場においては、ICT化によって教育現場が変革期を迎えており、1人あるいは少人数の生徒が1台のタブレットを活用できる環境の整備が進んでおり、端末数が増加する見込み

2020年3月期 第2四半期決算補足説明資料

連結決算ハイライト

連結売上高

売上高： **2,764** 百万円 (前期比 +0百万円 / +0.0%)

前連結会計年度からの継続案件を中心に案件獲得が進むが
前期に獲得した大型案件の反動減により僅かに増収となる

営業利益

営業利益： **1,096** 百万円 (前期比 +60百万円 / +5.9%)

前連結会計年度に実施した、海外戦略の見直しに伴う
経営資源の選択と集中効果により、収益性が向上

経常利益

経常利益： **1,092** 百万円 (前期比 +51百万円 / +5.0%)

営業利益の成長に伴い、経常利益も増益となる

親会社株主に帰属する
四半期純利益

四半期純利益： **745** 百万円 (前期比 △246百万円 / △24.9%)

前連結会計年度における米国子会社清算に伴う税金費用の抑制効果の反動によ
り、純利益は減益となる

連結業績

(単位：百万円)

項目	2019年3月期 第2四半期	2020年3月期 第2四半期	前期比	通期予想
売上高	2,764	2,764	+0.0%	6,800
売上総利益	2,237	2,133	△4.6%	5,450
販売管理費	1,201	1,036	△13.7%	2,150
営業利益	1,036	1,096	+5.9%	3,300
経常利益	1,040	1,092	+5.0%	3,300
親会社株主に帰属する 四半期純利益	992	745	△24.9%	2,277
ROE	15.0%	9.2%	—	—

※ 「通期予想」は2019年5月9日公表の連結業績予想

個別（単体）業績

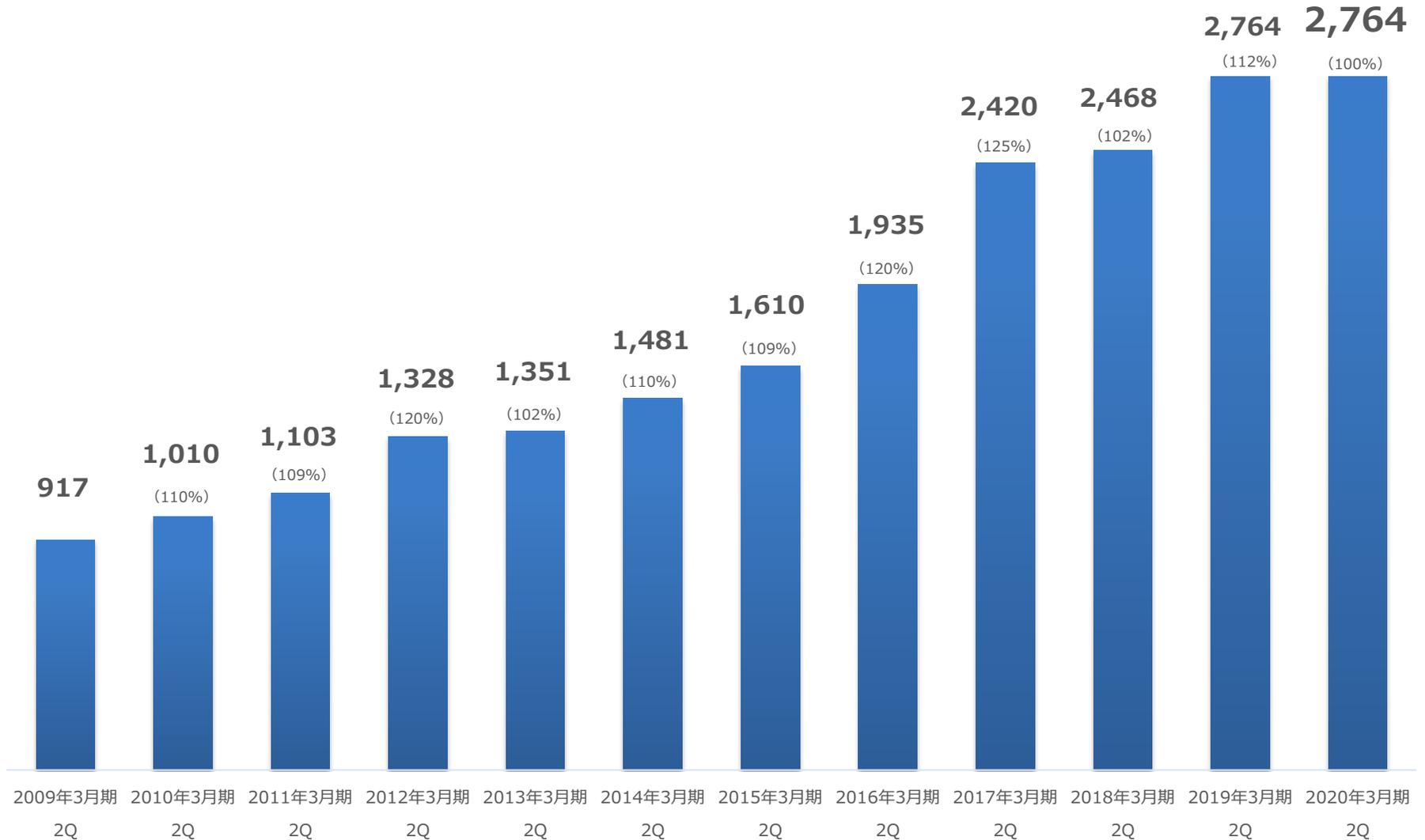
(単位：百万円)

項目	2019年3月期 第2四半期	2020年3月期 第2四半期	前期比	通期予想
売上高	2,739	2,677	△2.3%	6,600
売上総利益	2,233	2,107	△5.6%	5,400
販売管理費	1,046	986	△5.7%	2,100
営業利益	1,186	1,120	△5.5%	3,300
経常利益	1,190	1,117	△6.1%	3,300
四半期純利益	818	770	△5.9%	2,290
ROE	12.1%	9.5%	—	—

※ 「通期予想」は2019年5月9日公表の個別業績予想

対前年同期比で僅かに増収

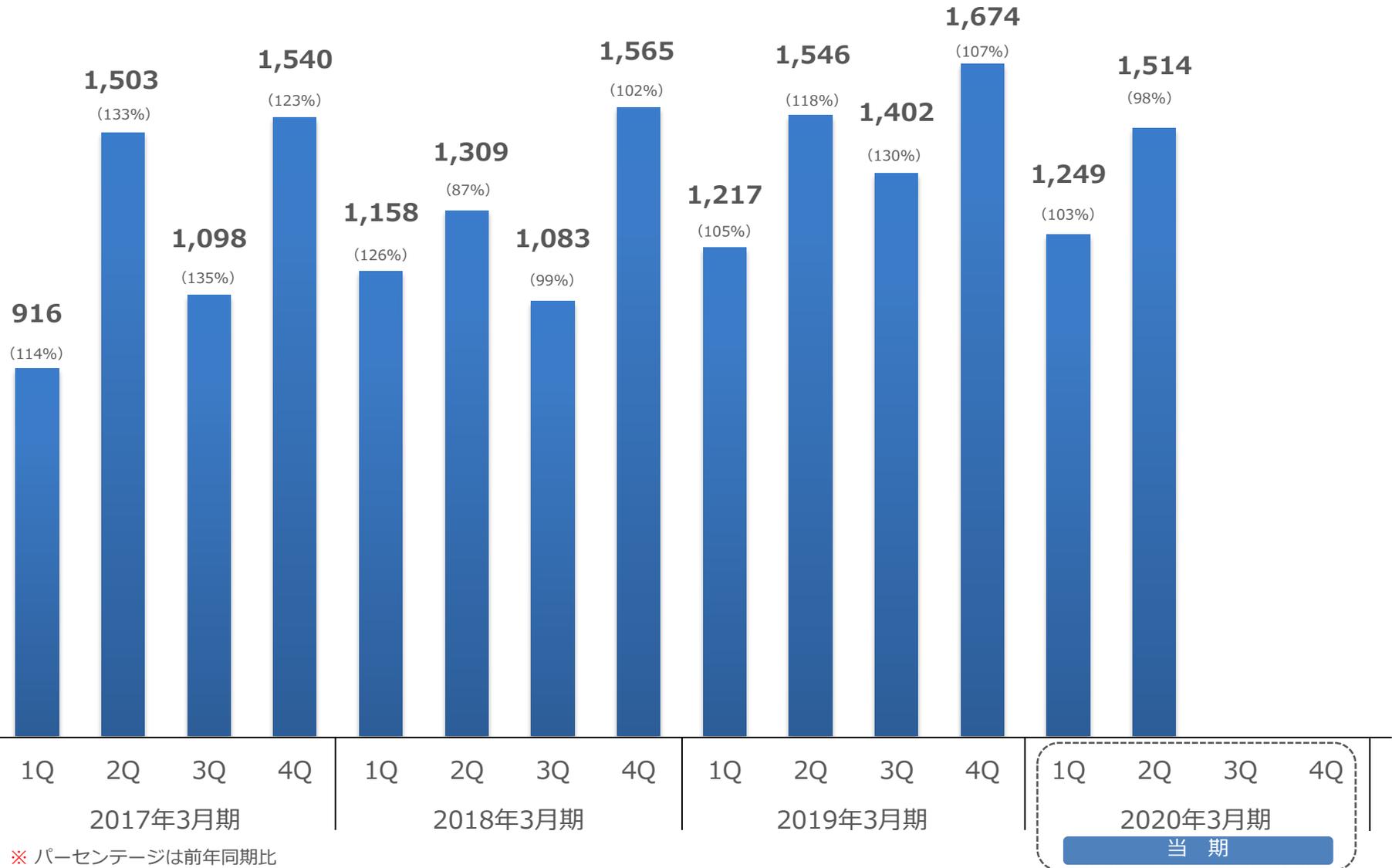
(単位：百万円)



※ パーセンテージは前期比

対前年同四半期比で僅かに減収

(単位：百万円)



※ パーセンテージは前年同期比

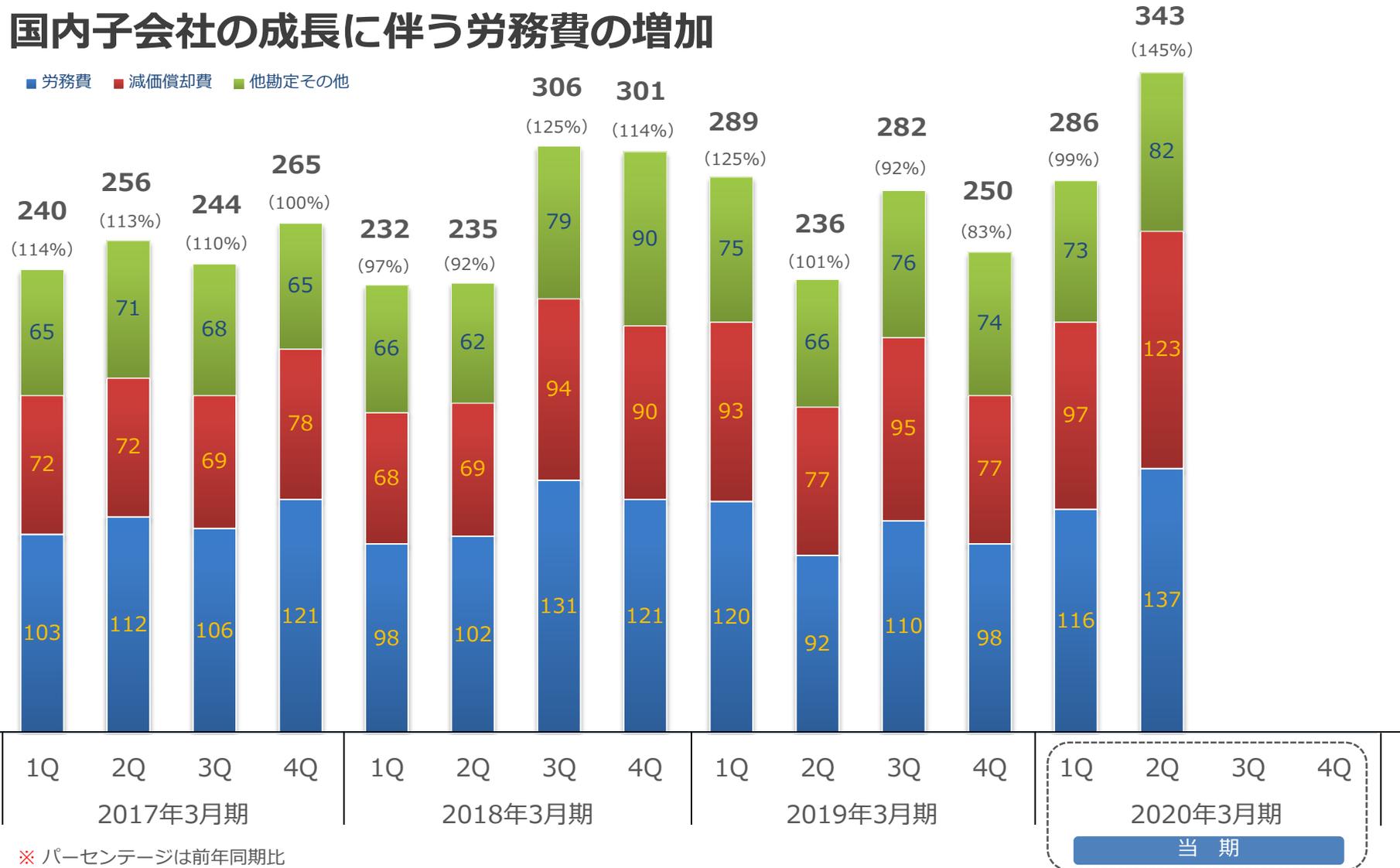
- 新バージョンリリースに伴うソフトウェア償却費増、国内子会社の成長による労務費増
- 前連結会計年度における海外戦略見直しに伴うグループ再編によって、経営資源の選択と集中効果により販売費及び一般管理費が縮小

(単位：百万円)

項目	2019年3月期 第2四半期	2020年3月期 第2四半期	前期比	主な増減要因
売上原価	526	630	+103	
労務費	213	253	+40	国内子会社（コンサルティング業務）の成長により増加
減価償却費	170	221	+50	新バージョンリリースに伴う償却費増
他勘定振替 その他製造原価	142	155	+13	
販売費及び一般管理費	1,201	1,036	△164	
人件費	540	529	△10	
広告宣伝費	183	116	△66	前期は戦略的に前倒し活用したため
その他	477	389	△87	米国子会社の清算に伴い縮小

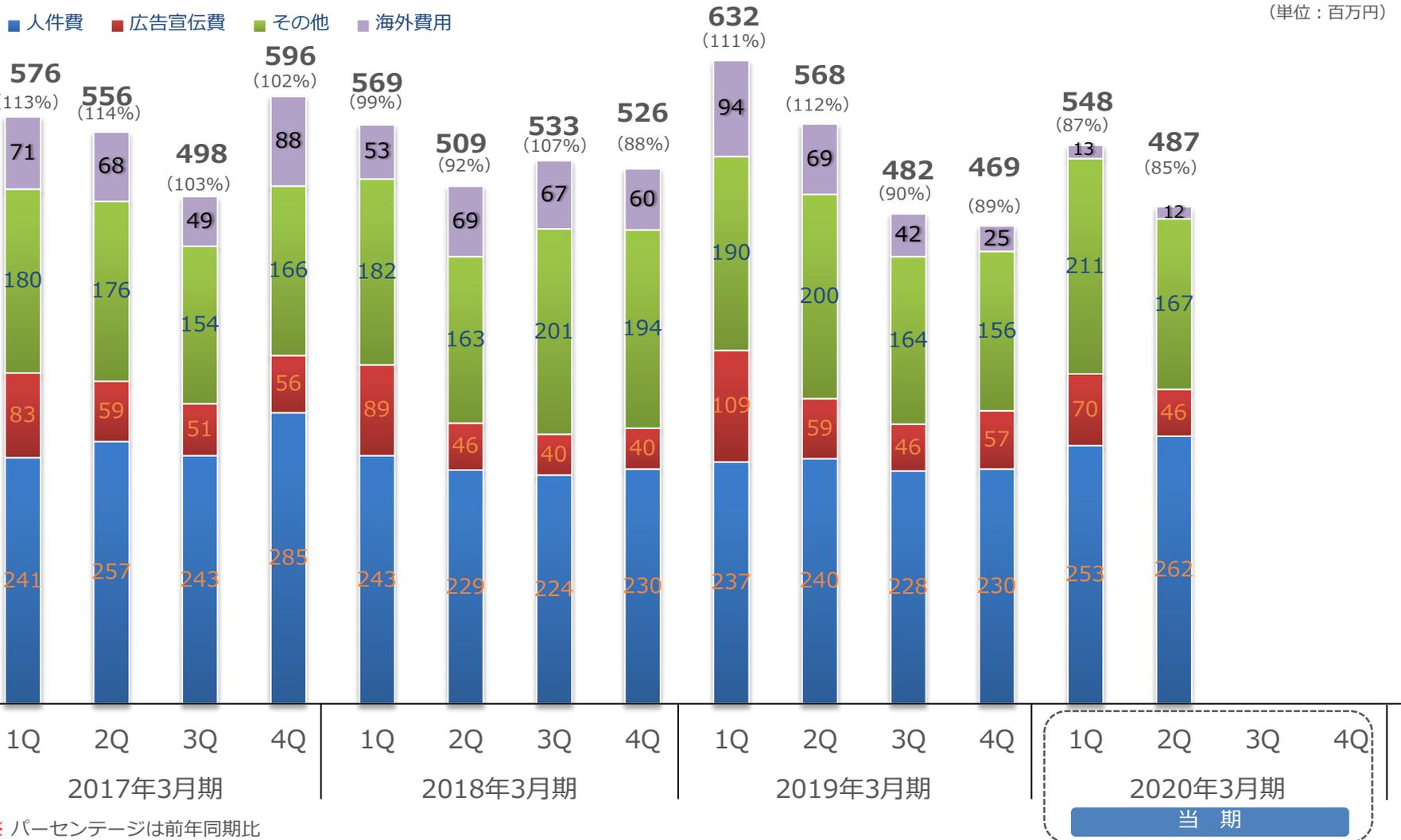
当期に製品バージョンアップ完了に伴う減価償却費の増加 国内子会社の成長に伴う労務費の増加

(単位：百万円)



※ パーセンテージは前年同期比

前連結会計年度の海外戦略の見直しによって、海外費用が大幅に縮小



2020年3月期 第2四半期決算補足説明資料

市場別詳細

- 連結全体では僅かに増収
- 企業向け市場は、「i-FILTER」ブラウザー&クラウドの好調により +8.4% の成長
- 公共向け市場は、前期獲得した大規模案件の反動減により $\Delta 12.5\%$ の減収
- 家庭向け市場は、引き続き青少年のフィルタリング導入が進み +8.0% の成長

連結売上高

売上高： **2,764** 百万円 (前期比 +0百万円 / +0.0%)

企業向け市場

売上高： **1,538** 百万円 (前期比 +119百万円 / +8.4%)

公共向け市場

売上高： **970** 百万円 (前期比 $\Delta 138$ 百万円 / $\Delta 12.5\%$)

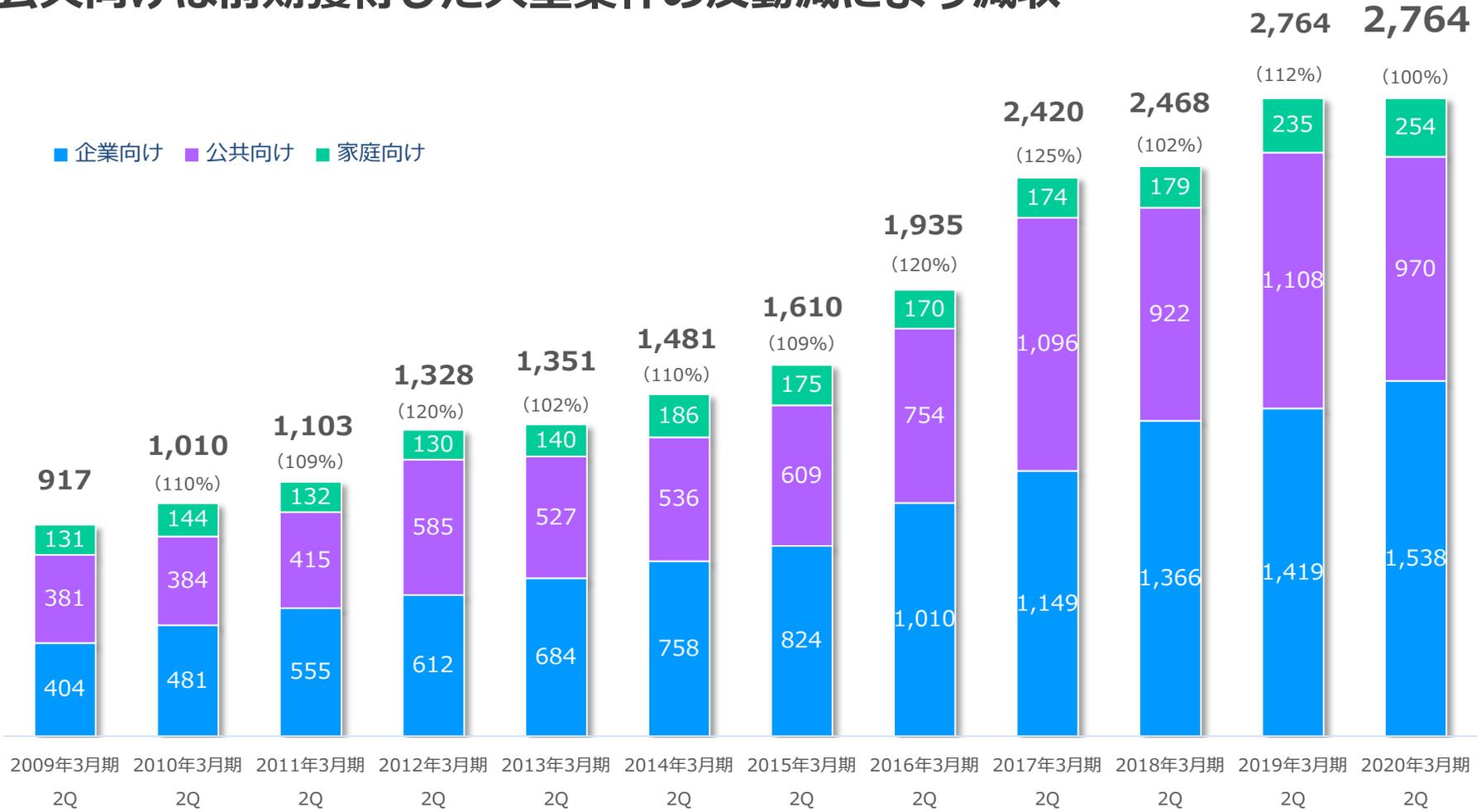
家庭向け市場

売上高： **254** 百万円 (前期比 +18百万円 / +8.0%)

企業向けおよび家庭向けは堅調に推移

(単位：百万円)

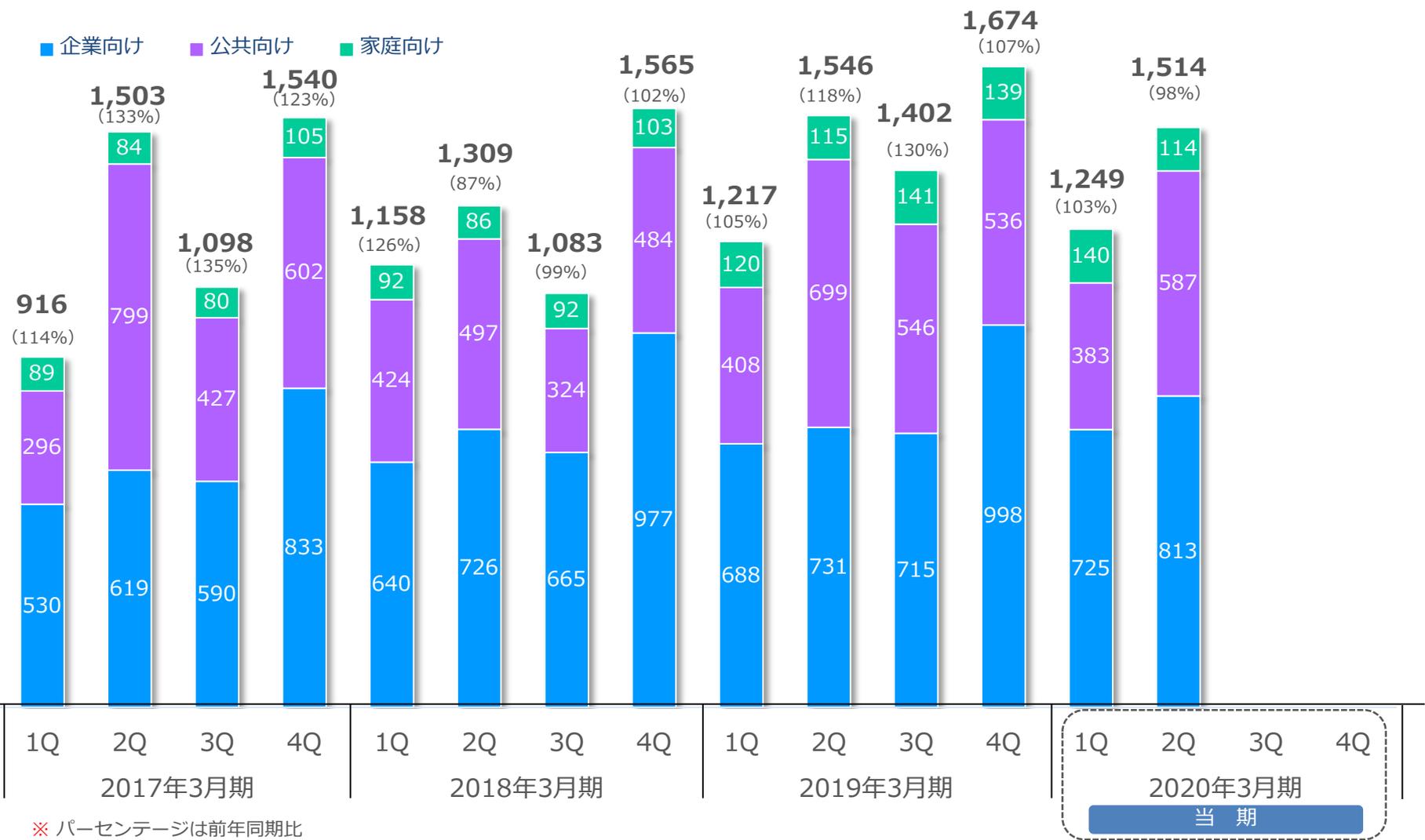
公共向けは前期獲得した大型案件の反動減により減収



※ パーセンテージは前期比

企業向けは堅調に推移

(単位：百万円)



※ パーセンテージは前年同期比

2020年3月期 第2四半期決算補足説明資料

企業向け市場

- 前連結会計年度からの継続案件等を中心に案件獲得が進み、主力製品である「i-FILTER」「FinalCode」の売上が順調に推移
- 働き方が多様化し、タブレットやノートパソコン等の会社支給端末を社外に持ち出し、業務を行うことが増加しており、場所・場面を問わずWebアクセス制御が可能となる「i-FILTER」ブラウザー＆クラウドの売上が引き続き拡大
- 「m-FILTER」は前期獲得の大規模案件の反動減により減収

i-FILTER
Series

前年同期比 **110.8** %



m-FILTER
Series

前年同期比 **95.5** %



FINALCODE 前年同期比 **123.1** %



2020年3月期 第2四半期決算補足説明資料

公共向け市場

- 前年同期の売上を牽引した金額的規模が大きい受注案件の反動減により、公共向け市場全体としては減収
- ICT化により教育現場は変革期を迎え、1人あるいは少人数の生徒が1台のタブレットを活用できる環境整備が進んでおり、タブレット端末に対して高度なセキュリティ対策が可能となるだけでなく、学習に最適な環境構築が可能となる情報提供サービスが付加された「i-FILTER」ブラウザー＆クラウドの売上が拡大

i-FILTER
Series

前年同期比

96.8 %



m-FILTER
Series

前年同期比

57.1 %



FINALCODE

前年同期比

118.0 %



2020年3月期 第2四半期決算補足説明資料

家庭向け市場

- 拡大する未成年者のスマートフォン利用に対して、青少年のインターネット利用に関する法律が厳格化され、フィルタリング利用が増加
- 複数年パッケージ製品や複数の端末で利用可能な「i-フィルター® for マルチデバイス」の販売が順調に推移

モバイル版
その他

前年同期比 **109.6 %**

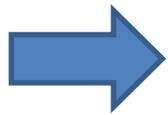
パソコン版

前年同期比 **105.8 %**

2020年3月期 第2四半期決算補足説明資料

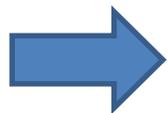
下期の取組み

- Windows7のサポート期限（2020年1月）
- 消費税増税（2019年10月）



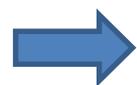
- PC切替への駆け込み需要の対応にパートナーが追われ、当社製品販売が一時的に滞る。

- クラウド運用の低価格セキュリティへの需要増加
- *DigitalArts@Cloud* を高価格でリリース



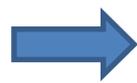
- 当社のブランドイメージが従来のフィルタリングソフトから脱却できていない。
- 製品価値がエンドユーザーに届いていない。
- 新規受注案件数の飛躍的な成長を達成できていない。

① *DigitalArts@Cloud* の価格改定・製品強化



ラインアップを強化しつつ、提供価格の見直しを行い、ライセンス数・団体数を拡大する。

② 大規模案件への導入支援



大規模案件の獲得をより優位に進めるために、製品の価値・ブランドを正しく伝達し、積極的にアプローチする。

③ 営業人員の強化

④ 新たな社内インセンティブ報酬制度



飛躍的な成長の実現のため、営業力をより強固なものにし、外部環境に左右されない営業を作りあげる。

2020年3月期 第2四半期決算補足説明資料

2020年3月期 通期業績予想

2020年3月期 連結業績予想

項目	2019年3月期実績	2020年3月期計画	成長率/増減率
売上高	5,841 百万円	6,800 百万円	16.4 %
売上総利益	4,781 百万円	5,450 百万円	14.0 %
販売管理費	2,152 百万円	2,150 百万円	△0.1 %
営業利益	2,629 百万円	3,300 百万円	25.5 %
経常利益	2,630 百万円	3,300 百万円	25.4 %
親会社株主に帰属する当期純利益	1,961 百万円	2,277 百万円	16.1 %
1株当たり配当金	48.00 円	50.00 円	—

2020年3月期 個別業績予想

項目	2019年3月期実績	2020年3月期計画	成長率/増減率
売上高	5,752 百万円	6,600 百万円	14.7 %
売上総利益	4,724 百万円	5,400 百万円	14.3 %
販売管理費	1,949 百万円	2,100 百万円	7.7 %
営業利益	2,774 百万円	3,300 百万円	18.9 %
経常利益	2,777 百万円	3,300 百万円	18.8 %
当期純利益	1,784 百万円	2,290 百万円	28.3 %

■ 配当について

株主の皆様に対する利益還元につきまして、以下の通り計画しております

2020年3月期の目標配当性向を連結当期純利益の30.5%

2020年3月期年間剰余金配当予想額は **1株当たり 50.00円**

	1株当たり配当金（円）			連結配当性向
	中間	期末	合計	
2019年3月期	18.00	30.00	48.00	34.0%
2020年3月期	25.00			
2020年3月期（予想）		25.00	50.00	30.5%

本プレゼンテーション資料に記載されている計画、戦略、財務的予測のうち歴史的事実でないものは、将来の見通しに対する記述であります。本見通しは、当社経営陣が現在入手可能な情報に基づき判断したもので、環境等の変化により大きく見通しの変動する可能性があり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。今後、重要な変化がある場合は適宜開示します。

本プレゼンテーションの基本的な数値の記載は、一部を除き百万円未満を切り捨てて表示しています。

- デジタルアーツ、DIGITAL ARTS、i-FILTER、info board、ARS、Active Rating System、ACTIVE RATING、ZBRAIN、D-SPA、SP-Cache、NET FILTER、White Web、m-FILTER、m-FILTER MailFilter、m-FILTER Archive、m-FILTER Anti-Spam、m-FILTER File Scan、Mail Detox、FinalCode、i-フィルター、DigitalArts@Cloud、Chat@Cloud、Dアラート、Dコンテンツ、当社・当社製品関連の各種ロゴ・アイコンはデジタルアーツ株式会社の商標または登録商標です。
- その他、記載された会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

DigitalArts®

-より便利な、より快適な、より安全な
インターネットライフに貢献していく-